

100万回生きたねこ

原作・絵／佐野洋子(講談社刊) 脚色／久野由美 演出／ふじたあさや
音楽／遠山裕 振付／佐久間尚美 美術・衣装／坂本真彩・山土井志麻
音響／山北史郎 制作／上保節子・久野由美

あるときねこは
王さまのねこで、
あるときねこは
船のりのねこで、
またあるときは
とろぼうのねこ。
でも、ねこの命が
いちばん
かがやいたのは…。
100万回も生きて
100万回も死んだ
ふしぎなねこの
ものがたり。



あ

る時、ある場所に、百万
回生きたねこがいました。
ねこは死んで生き返るた

びに、さまざまな人間に飼われます
が、ねこはみんなが大好き。人間
たちはねこが死んだ時に泣きました
が、ねこは一度も泣きませんでした。
そんなある日、そのねこは、はじ
めてのらねこに生まれ変わりました。
他のらねこたちは、このねこが大
すきになりましたが、その中にたっ
た一匹、このねこに見向きもしな
い白いねこがいました……。

上演にあたって

さまざまな飼い主に飼われ、いつも受け身で生きてきたねこが初めてのらねこになり主体的に自分の人生を生きるように変わっていきます。自分だけを好きだったねこが初めて愛する者と出会い生きる喜びを知る姿を通して、生きること、いのちのことを一緒に考えたいと思います。

もうすぐ創立80周年「子どもたちに夢を」小中学校の演劇教室を中心に活動